



6年目のスタート

教頭 松本 隆男

空梅雨の猛暑の中、1学期の終業式を迎えました。校長が折に触れ口にする事ばどおり、開校して5年間という基礎固めを経て、これから10周年という大きな節目に向けて大きく成長、開花していく時期であり、保護者や地域の皆様方とともに歩む特別支援学校として一層の発展を目指しています。年度当初から「授業の充実」・「キャリア教育・自立活動の充実」・「地域支援・地域貢献の推進」を柱に、教育活動に取り組んでいます。

今学期は、授業参観、運動会、学校公開、機関研修、現場実習、高等部作業展示会等多くの皆様にお越しいただきました。その際いただいたご意見、ご感想を今後の教育活動に生かしてまいります。

6月30日(木)に行った本年度第1回学校評議員会及び学校評価懇話会についてご報告します。

埼玉県立学校では、学校が地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者の皆様や地域の方々等の意見を把握、反映し、その協力を得るために学校評議員会を設置しています。本校でも特別支援教育に関する識見を有する方から、校長の推薦により委員を県教委が委嘱しています。評議員会及び評価懇話会では、学校の教育目標、教育計画、教育活動や地域との連携の進め方、学校運営の基本となる方針や重要な活動に関する事項等に関して、話し合いを行っています。

今年度の学校評議員及び学校評価懇話会委員

白井 健次 氏	立正大学社会福祉学部准教授	深野 聡 氏	社団法人 東京乗馬クラブ
福島 陽一 氏	深谷市立川本中学校長	木村 知之 氏	深谷市川本公民館長
杉山 睦郎 氏	埼玉県障害者雇用サポートセンター 企業支援アドバイザー	内野 晴美 氏	PTA 副会長
高橋 清顕 氏	特定非営利活動法人 そうだんべ 障害者相談支援センター 八分目	桑原 弘子 氏	PTA 副会長
根岸 里花 氏	PTA 会長	渡辺 尚美 氏	PTA 副会長
		生徒代表	本校生徒会長

会議では、各学部の授業や施設の視察、今年度の学校の取組の説明の後、委員の皆さんから意見をいただきました。主な内容は次の通りです。

- ・他学部の授業を知ることは基本。学部相互の授業見学の取り組みは継続してほしい。
- ・発達検査を行い、学部間で共通の指標を持ち全体で取り組むのは大事なことであり、よいことである。
- ・ポニーのメロンを中心に学校がまとまっていると感じられた。とてもよいことだと思う。
- ・学校にいる間は、保護者の意見を中心に支援計画を作るが卒業後は自分の意見が求められる。その訓練のためにも、主体性を育てることを主眼とした教育は必要。
- ・教員の専門性は大切。いろいろな障害特性の研修等も行っており、新しい学校ができていく感じがする。
- ・他校PTAとの集まりでポニーの話をするとうれしいといわれる。ポニーがいるのはとてもよいことだ。
- ・毎年課題を分析し、取り組みを行っている。最初のころに比べ児童生徒が落ち着いてきているのはその成果だと思う。
- ・災害に対する危機管理への取り組みを考えていきたい。

明日から夏季休業に入ります。学校では教職員の専門性の向上とチーム力の強化を図るため、この期間多くの研修を予定しています。その成果を2学期以降に生かしたいと考えています。

暑い日が続きます。体調管理には十分ご注意ください。2学期の始業式には、児童生徒の元気な顔を見られることを楽しみにしております。